

東京港における物流機能（鉄道輸送）強化事業の実施結果と 令和4年度事業の実施について

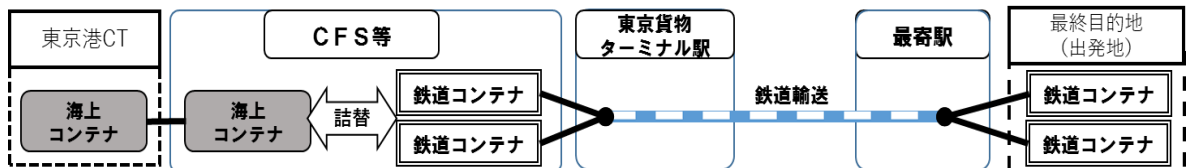
東京都では、東京港における、モーダルシフトによる物流機能の強化を推進しており、その選択肢の一つとして、鉄道の利用促進に取り組んでいます。

「東京港における物流機能（鉄道輸送）強化実証事業」について、令和3年度の結果概要をお知らせいたします。

また、令和3年度の検証結果を基に、令和4年度はトラック輸送と鉄道輸送の価格差が縮小すると見込まれる、輸送距離が中長距離（概ね400km圏から）となる貨物輸送を中心とした鉄道輸送強化事業を実施します。

■事業の内容

東京港で輸出入される海上コンテナ貨物について、東京港のCFS等において国内鉄道用コンテナへと詰め替え、以下により輸送し、その費用の一部を補助



■令和3年度実施結果概要

多方面への国内各路線・駅との鉄道輸送を可能とし、モーダルシフトによる物流機能を更に強化していくため、海上コンテナから国内鉄道用コンテナへ（もしくは国内鉄道用コンテナから海上コンテナへ）の詰め替えによる輸送を実施し、鉄道輸送に係る費用やリードタイム等について検証する。

- 1 実施期間 : 令和3年7月1日から令和3年9月30日まで
- 2 協力事業者数 : 3社
- 3 取扱合計本数 : 38本(64TEU)
- 4 輸送先 : 北関東各県のほか、新潟県、長野県への輸送を実施
- 5 主な検証結果 :
 - ・東京港と目的地との距離が中長距離(概ね400km圏から)となる輸送において、トラック輸送と鉄道輸送の価格差が縮小

- ・荷物がパレット等で整理されていない場合、梱包サイズを計るなど、鉄道コンテナ数の正確な算出が必要
- ・鉄道の場合、配送手配に4～5日（陸送1～2日）、リードタイムは3～4日（陸送2日）、ターミナルからの受取を早めるなどの対応が必要

※詳細はこちら

https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/post_4.html

■令和4年度の実施

令和3年度実証事業の検証結果を基に、トラック輸送と鉄道輸送の価格差が縮小すると見込まれる、中長距離を中心とした鉄道輸送（詰め替え貨物）への補助事業を実施する。

- 1 補助金額 : 1 F E U 当たり 20,000 円（1 T E U 当たり 10,000 円）
1 者当たりの補助額は 2,000,000 円を上限とします。
- 2 申請期間 : 令和4年4月15日（金曜日）～令和4年5月31日（火曜日）

※申請条件等、詳細はこちら

https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/post_9.html

※このメールは東京都が開催いたしましたイベント等にご参加いただいた方、東京都港湾局職員とお名刺を交換して下さった方々及びメールマガジンの配信を希望された方々に BCC でご案内させていただいております。

※今後このようなご案内が必要でない方は、お手数をおかけいたしますがこのメールにて「不要」とご入力のうえ、ご返信ください。

※東京港の振興施策のご紹介ページはこちら↓

<https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/shinkousisaku.html>

※メールマガジン「物流通信」のバックナンバーはこちら↓

https://www.kouwan.metro.tokyo.lg.jp/business/post_8.html

メールによるお問い合わせは

東京都港湾局港湾経営部振興課 S0000517@section.metro.tokyo.jp
